

達成度：R5.3.31 の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

## 経済環境課の目標（令和4年度）自己評価書

経済環境課長 鵜澤 勝己

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p>1 良好な生活環境と自然環境の保持（環境対策室）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 一般廃棄物のうち、プラスチックごみの再資源化について検討します。</li> <li>② 生活環境と自然環境を保持のため、埋め立て等事業、太陽光発電施設の設置等について適正な指導と監視を実施します。</li> <li>③ 地域猫活動の支援を継続し、野良猫の増殖抑制を図ります。</li> <li>④ 畜犬の適正な管理と狂犬病予防注射の接種啓発を継続します。</li> <li>⑤ 空き地に繁茂する雑草の適正な管理について指導啓発を継続します。</li> <li>⑥ 脱炭素社会の実現に向けて地球温暖化対策実行計画の策定に着手します。</li> </ul>	<p>2</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p>	<p>プラスチックごみの再資源化については、現在も清掃組合と継続して協議、検討を行っています。</p> <p>埋め立て等事業、太陽光発電施設の設置等について、適正な指導、管理を実施し、環境保持に努めました。</p> <p>不妊去勢手術および猫の譲渡費用の助成を行い、野良猫の増殖抑制を図りました。</p> <p>3日間にわたり、役場、公園等で狂犬病予防接種を実施するとともに、広報紙で接種啓発を行いました。</p> <p>土地所有者に適正な管理を行うよう通知するとともに、広報紙等で空き地の管理に関する啓発を行いました。</p> <p>令和5年3月定例会でゼロカーボンシティ宣言を行いました。</p>
<p>2 農業振興と連携の強化（農政振興班）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 農村（集落）環境の整備と農地保全 国営印旛沼二期土地改良事業の推進と農村環境の向上対策である多面的機能支払制度の推進に努めます。</li> </ul>	<p>4</p>	<p>国営印旛沼二期土地改良事業について、国、県、印旛沼土地改良区及び関係市町と協議を行いました。</p> <p>多面的機能支払制度については、根古谷地区において、引き続き推進に努めました。</p>

<p>② 農業担い手の確保  農業従事者の高齢化に伴い次代を担う農業者を確保するため、農業次世代人材投資資金や町農業担い手育成支援補助金を活用し農業の担い手の確保、育成に努めます。</p> <p>3 商工業・観光の振興（商工観光班）</p> <p>① 企業誘致  企業立地優遇制度を掲載した「酒々井町企業立地のご案内」等を活用し、企業誘致活動を行い、優良企業の立地を促進するとともに、生産性向上特別措置法に係る設備投資支援策をはじめとした既存企業に対する再投資支援策を進めていきます。</p> <p>② 企業支援  新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、大きな影響を受けている企業・事業者等に対し、事業継続を支援する政策を進めていきます。</p> <p>③ 「まるごとしすい」運営事業  事業を充実し、来館者数を増やすとともに特産品等の開発も行っていきます。</p>	<p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p>	<p>農業の担い手の確保、育成のため、農業次世代人材投資資金を認定新規就農者1名に1,500千円、町農業担い手育成支援補助金を3名に合計776千円交付しました。</p> <p>企業誘致活動を進めてきた墨工業団地の未利用地については、工場立地を希望する企業の進出計画が進み、一部の用地において土地の引き渡し等が完了しました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中、原油価格高騰により、深刻な影響を受けている中小企業などに対し、事業の継続を支援するため、助成金を支給しました。</p> <p>緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置期間を除く、毎週末に地元野菜等の販売を行う「楽市」を開催するとともに、酒々井プレミアム・アウトレットのフードコート内において「しすいマルシェ」を開催しました。また、特産品開発第2弾として、「オリジナルパン」の販売を開始しました。</p>
---	-------------------------------------	---